

「(仮称) 公共施設等のライトアップ基本方針」
(素案)

平成 29 年 12 月

東京都

～目 次～

1. 本方針の目的	1
2. 本方針の対象	1
(1) 「ライトアップ」について	1
(2) 対象施設	2
3. ライトアップの現状と問題点	3
(1) ライトアップの現状	3
(2) ライトアップの問題点	4
4. ライトアップを進める上での課題	5
(1) 光害の影響	5
(2) 省エネルギー・再生可能エネルギー	7
(3) ライトアップの地域環境への配慮	9
(4) 観光資源としての夜間景観	11
5. 基本的な考え方	14
(1) 目標	14
(2) コンセプト	14
6. 事業の推進方策	24
(1) 重点エリアの設定	24
(2) 重点エリアにおける取組事例	25

1. 本方針の目的

- 東京 2020 大会、さらに、大会後も引き続き、都民が誇りを持ち、来都者を惹き付ける都市になるために、夜間景観に磨きをかけ、東京の魅力を更に高めていく必要がある。
- このため、東京の夜間景観の大きな要素を占めている、公共施設から先行してライトアップを実施していくことで、民間施設へ波及させていく。

2. 本方針の対象

(1) 「ライトアップ」について

- ライトアップとは、建造物等に照明を当てたり又は照明自体を取り付けることで、光で夜間景観を演出することである。また、都市活動に必要な照明の中には、夜間景観を形成するうえで、重要な要素となっている照明もある。
- そこで、「(仮称) 公共施設等のライトアップ基本方針」(以下、「本方針」という。)では、公共建造物やインフラの美しさを光で演出するための照明(以下、「演出照明」という。)と安全性確保のために必要な機能的な照明(以下、「機能照明」という。)の考え方や光害等がもたらす影響、光の演出による効果等について整理することとする。



表参道



レインボーブリッジ

図 1 ライトアップ施設の例

※機能照明：安全、防災、防犯等の視点から、都市活動に必要な照明。明るさや効率性、経済性等を考慮して設置される。(例：防犯灯)

※演出照明：光の装飾により、個性や歴史、文化、環境等を表現することでまちのイメージを際立たせたり、まちを構成する通り等をわかりやすくすることで、季節感や時間の変化等を伝える。(例：橋梁のライトアップ、建造物のライトアップ)

(2) 対象施設

- 本方針では、以下の都有施設を主な対象施設とする。また、その他の国・区市等の公共施設等については本方針に沿った協力を求めていく。なお、ライトアップによる演出照明の対象施設は、施設や地域の特性を踏まえて検討を行う（詳細は、5（2）コンセプトⅡで説明）。

《主な対象施設》

【公共建築物】

文化施設（博物館等）、歴史的建造物、大学、市場、庁舎、スポーツ施設

【インフラ】

道路、橋梁、河川、鉄軌道駅・鉄道橋、港湾・海岸施設、公園・庭園、空港・ターミナル

《その他の公共施設等》

- 国及び区市の「公共建築物」、「インフラ」
- 一部の民間施設（例：公共性が高い、鉄軌道駅・鉄道橋、高速道路等）
※その他の公共施設については、協力を求めていく。

3. ライトアップの現状と問題点

(1) ライトアップの現状

- 都内では、東京スカイツリーや東京タワー等の民間施設や国会議事堂、隅田川橋梁などの公共施設において、常時ライトアップが行われ、夜景観光ツアーコースの一部にもなっている。
- また、夜桜や紅葉のライトアップ、クリスマスシーズンのイルミネーションなど季節的なライトアップのイベントも都内各所で行われている。
- 日本は、海外からLED大国と言われており、文化・公共施設やランドマーク等では、質の高い最新のLED照明が使用されている施設もあり、光による演出が行われている。



図 2 東京スカイツリーのライトアップ



図 3 六義園紅葉時のライトアップ



図 4 千鳥ヶ淵桜のライトアップ



図 5 目黒川イルミネーション



図 6 隅田川永代橋ライトアップ



図 7 丸の内仲通りのイルミネーション

(2) ライトアップの問題点

- 現在、都には、良好な夜間景観をつくり出すための、照明に関する基準等がないため、商店街など施設管理者ごとに仕様・規格が異なる照明器具が使われていることがある。
- また、必要以上に明るすぎたり、光害（詳細は、4（1）で説明）を引き起こしている照明も見られる。



図 8 ランドマークの周辺が明るすぎる例

- 施設の新設や改修事業にあたり、本来必要な機能照明の設置に際しても、必要な照明範囲以外に光が漏れる「漏れ光」による光害やエネルギー浪費につながっているケースも一部で見られる。
- 多くの公共施設の中には、機能照明を優先し、施設のライトアップまで手が回らないケースが見られる。



図 9 漏れ光が著しい例

- 東京 2020 大会に向け、今後ますます、東京に国内外から多くの観光客が訪れ、メディア等で注目される機会も増加することから、世界で紹介できる、東京ならではの夜間景観をつくり、東京の魅力をもっと高めていくことが必要である。

4. ライトアップを進める上での課題

(1) 光害の影響

- 周辺環境に十分配慮されていない照明器具の使用により、「漏れ光」等が生じ、人の活動や生物等へ悪影響が生じる「光害」が問題となるケースがある。
- 環境省では光害の防止に向けた「光害対策ガイドライン」を策定しており、公共施設のライトアップ等を進める上では、漏れ光や障害光を排除した屋外照明器具の使用や照明方法の配慮が求められる。

① 光害を引き起こす光の種類

[漏れ光]

- 照明器具から照射される光で、その目的とする照明対象範囲外に照射される光。

[障害となる光]

- 漏れ光のうち、光の量若しくは方向又はその両者によって、人の活動や生物等に悪影響を及ぼす光のことを示す。夜空の明るさ、人に対するグレア、動植物の生育への影響がある。

※グレア：視野の中に他の部分より著しく輝度（明るさ）の高い物体（光源など）の存在によって不快感や見え難さを生ずる視覚現象。激しいまぶしさを生ずる障害光のひとつである。

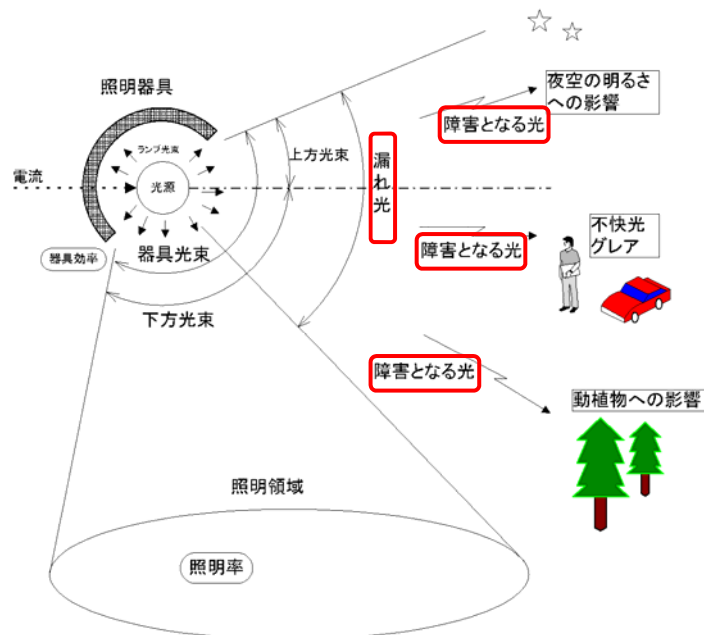


図 10 光害の模式図

(出典)「光害対策ガイドライン」(平成 18 年 12 月改訂版 環境省 12 頁)

② 光害による人間等への影響

- 外部からの光が住居内へ強く射し込むと、居住者の安眠、プライバシーなどに悪い影響を及ぼすおそれがあるため、照明器具の配光制御を行う必要がある。
- 照明器具の選定・設置が不適切である場合、必要な照度が得られなかったり、歩行者に不快なグレアを感じさせる可能性がある。
- また、防犯上の安全性を損なう可能性もあり、周辺環境を踏まえた適切な照明器具の設置が必要である。



図 11 グレアが強い事例

③ 光害による交通機関への影響

- 道路周辺施設の照明が自動車の運転者に影響を及ぼし、交通安全に支障を生ずる可能性がある。JIS等で規定された適切な照明設備の設置が必要である。

④ 光害による動植物への影響

- 夜間照明は、蛍などの昆虫や植物の光合成と成長などの生態に影響を及ぼす可能性があるほか、都市内に植えられている街路樹等では、樹種によって人工光の影響の度合いが異なる。そのため、照明設備周辺に生息する保護が必要な動植物の有無を調査するとともに、その影響等を理解し、個別に対応を検討することが望ましい。

(2) 省エネルギー・再生可能エネルギー

- ライトアップを実施する際には、より少ないエネルギーでより効果の高い、省エネルギー型の照明が求められる。このため、照明器具の選定や照明方法の検討の際には、省エネルギー化に十分配慮していく必要がある。
- さらに、再生可能エネルギーの利用推進による節電も今後重要となる。

① 新しい技術による省エネルギー化と再生可能エネルギーの利用

- 照明施設のインシヤルコストやランニングコストは、年々上昇しており、省エネルギーによる設備費を抑える配慮が求められる。一方、環境負荷の低減をしっかりと進めていくことが必要である。
- そのため、器具の更新時にはLED等の新しい省エネルギー器具を積極的に採用したり、漏れ光の防止等によってエネルギーの有効利用を図ることも必要である。

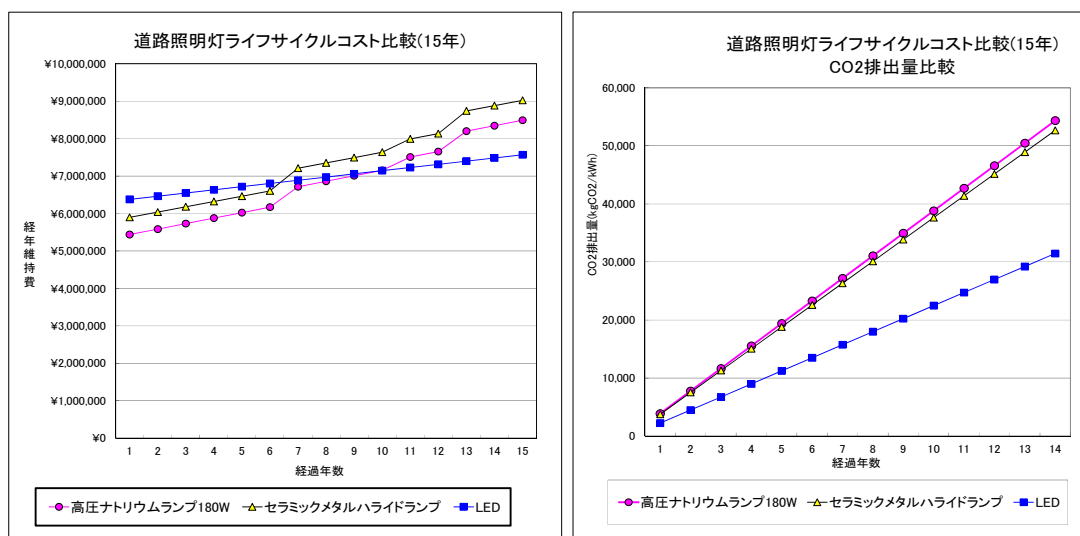


図 12 道路照明灯のLEDとその他のランプのライフサイクルコスト比較(例)

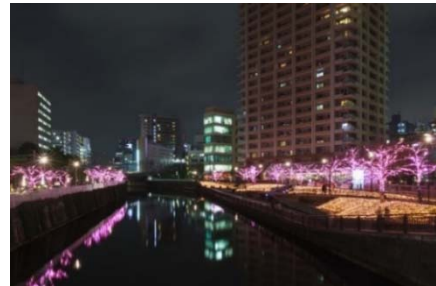
- また、太陽光、地中熱、バイオマスなどを活用した多様な再生可能エネルギーの利用促進を図ることも必要である。

❖ トピックス ❖

◎地域の廃食油を利用した 100%自家発電によるイルミネーション

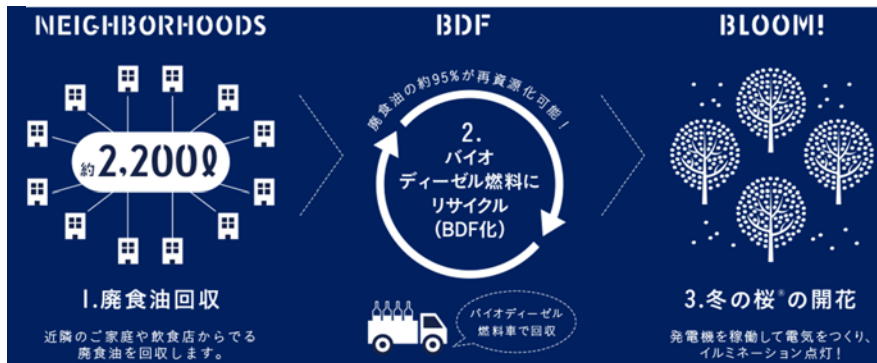
実行委員会と品川区が共催する「目黒川みんなのイルミネーション」では、大崎・五反田エリアの目黒川沿いの桜をLEDライトで装飾し、冬に咲き光る桜の並木道をつくる。

具体的には、地域の方に協力を募って廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルして、冬の桜のイルミネーションを点灯する。地産池消の電力エネルギーでCO₂を削減し、100%自家発電のライトアップを行っている。



目黒川みんなのイルミネーションの様子

<イルミネーション点灯の仕組み>



(資料：目黒川みんなのイルミネーション実行委員会ホームページ)

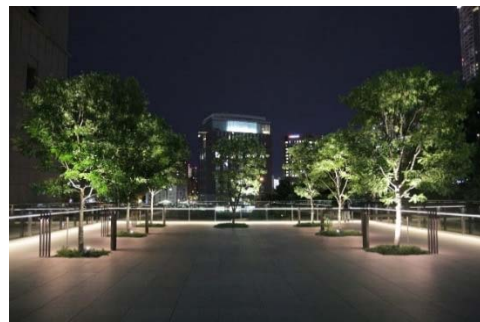
② 鉛直面（垂直面）の活用

- ・明るさや快適性は、輝度（※）のバランスによることが多い。対象物を鉛直方向からライトアップすることで、効率的に輝度を高め、明るさを感じることが出来る。

※輝度：特定の方向に対する光の強さ(面積当たりの光度：cd/m²)を表す数値



建物の外壁をライトアップすることで、街並みの奥行き感や明るさ感を確保している。(神戸市)



手すりや樹木の鉛直面を照らすことで、空間にひろがりを与えたり効率よく機能的な明るさも確保している。(大阪市)

図 13 鉛直面を生かした照明

(3) ライトアップの地域環境への配慮

- 東京の夜間景観は、高層ビルからの光や、繁華街の活気のある光、街角のネオンの光や住宅街の落ち着いた光など、地域性や都市構造とも密接に関連しながら、多様な光で構成されており、これらが東京の魅力にもなっている。地域や場所に相応しい光によって、東京の夜景を磨き上げていく必要がある。
- 他都市では、ライトアップ等の実施に際し、周辺住民の反対などにより、計画が中止となったケースもあり、周辺環境に十分配慮し、丁寧に説明を行うなど、慎重に検討する必要がある。



銀座



新宿歌舞伎町



東京タワー周辺（東京港臨海部）



浅草



中目黒・目黒川の桜



日野市

図 14 地域性や都市構造に関連した多様な夜間景観

❖ トピックス ❖

◎地域環境を考慮したライトアップなどの記事

[毎日新聞 2017年1月19日 地方版 より抜粋]

○原爆ドーム 周辺電飾、広島市が批判受けアンケート 「問題ない」7割以上
来年度以降の参考に

原爆ドーム（中区）周辺のイルミネーションに批判が寄せられている問題で、広島市は18日、実施したアンケートで7割以上が「問題ない」と答えたことを明らかにした。結果を精査し、来年度以降の参考にするという。

市は昨年12月、世界遺産登録20年を記念し、周囲の樹木などに夜間、約4万5000個の青色発光ダイオード（LED）電球をともしている。「鎮魂の場にそぐわない」と批判の声が上がり、先月28日にイルミネーションを見ている人に職員がアンケートを実施して、131人から回答を得た。

イルミネーションの是非を問う質問に、101人が「問題ない」、8人が「控えるべき」、22人が「どちらとも言えない」と答えた。

「原爆ドームに来た目的」（複数回答）は、「観光のため」が67人で最も多く、「通行の途中」34人▽「イルミネーションを見るため」26人▽「慰霊のため」20人▽「その他」5人だった。

回答者の内訳は、県内50人▽県外69人▽海外10人▽未回答2人。年齢は、20歳未満22人▽20代31人▽30代29人▽40代26人▽50代12人▽60代6人▽70歳以上4人▽未回答1人。

市は結果について、「『観光のため』が最も多かったことにも配慮しなければならない」としている。イルミネーションは予定通り、2月5日まで実施する。

(4) 観光資源としての夜間景観

・夜間景観を観光資源として積極的に活用している他都市に比べ、東京は、活用が限られており、観光資源として更に活用していく余地が残されている。

- ・国別外国人旅行者行動特性調査報告書（平成 29 年 3 月）によると、東京を訪れる外国人観光客のうち、訪都中に行った活動として、最も多かったのが「日本食を楽しむ」（87.2%）で、続いて「日用雑貨等のショッピング」（66.3%）、「高層ビル、近代的な街並み・景観・建築物の探索」（60.7%）の順となっている。
- ・一方、「ウォーターフロント、夜景などの探索」（23.3%）は全体 9 位となっており、建築物の探索に比べて、夜間景観（夜景）は観光資源としては十分に生かされていない。訪問して一番満足している場所で行った活動として、「ウォーターフロント、夜景などの探索」を挙げた割合をみると、「お台場・東京湾」が最も多いものの、他の地域は、0～5%となっており、夜間景観として評価はされていない状況となっている。



注) 日用雑貨等のショッピング: 日用雑貨、化粧品、食品、菓子類のショッピング
 高層ビル等の探索: 高層ビル、近代的な街並み・景観・建築物の探索
 テーマパーク等で遊ぶ: テーマパーク、レジャー施設で遊ぶ
 注) 構成比は無回答を除いて算出

図 15 訪都外国人の訪都中の活動内容

(資料: 平成 28 年度 国別外国人旅行者行動特性調査報告書/平成 29 年 3 月/東京都)

- ・国内では大阪市、神戸市、長崎市等において、夜間景観を都市観光の資源として積極的に取り入れ、歴史的建造物や公共施設のライトアップをはじめ、光のイベント等を行っている。
- ・大阪市では、「大阪・光の饗宴」の事業者数が年々増加し、2016年には経済波及効果が約665億円と推計されている。



中之島の橋梁群と護岸や高速道路施設等のライトアップ

2017年で5周年を迎える光のイベント「大阪・光の饗宴」

図 16 大阪市のライトアップ施設事例

❖ トピックス ❖

「大阪・光の饗宴」の来場者数は、初年度の2013年度の約517万人から年々増加し、2016年度では約1,293万人と2.5倍にまで増加している。2016年度の経済波及効果は約665億円と推計されている。また、ライトアップ施設やエリアプログラムも年々充実させてきている。(資料：大阪市資料)

大阪・光の饗宴 4年間の実績



継続的な事業実績の確保を目指す

- ・海外先進都市でも、パリ市やリヨン市、シンガポール等において、夜間景観を都市計画にも位置付け、計画的に整備しており、観光収入に結びついている。

❖ トピックス ❖

○パリ市（フランス）：セーヌ川沿いや歴史的地区において、歴史的建造物の夜間鑑賞、広場や街路等の街のあかりによる演出方法を照明マスタープランで位置付け、夜間観光を楽しめる環境を創出している。近年では、照明器具のLED化を推進し、エネルギー節減や生物多様性への配慮など、持続可能な夜間景観形成を進めている。



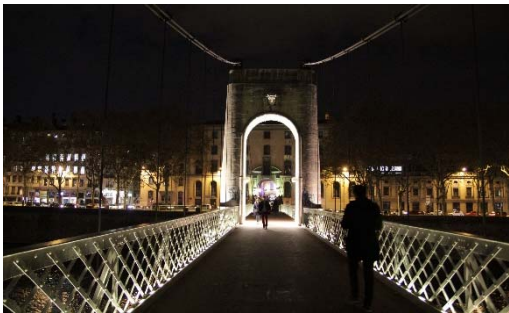
シャンゼリゼ通り



ノートルダム寺院

図 17 パリ市の夜景

○リヨン市（フランス）：都市の美しい夜景づくりのために、歴史的建造物や橋梁等のライトアップを計画的に進めている。毎年冬に開催される光の祭典（ルミエール）では、旧市街に国際的なアーティストの様々な光の作品が展示され、国内外からの観光客の多くがこの時期に訪れている。



コレージュ歩道橋



光の祭典（ルミエール）

図 18 リヨンの夜景

○シンガポール：代表的な地区では、開発事業に併せた照明計画が義務付けられているため、夜間も地区の特質を生かした一体感のある街並みが光で演出されている。マリーナベイやシンガポールリバー周辺は国民・観光客のナイトライフの場としてにぎわっている。



バイエリアのリゾート施設群
（マリーナ・ベイ地区）



リバーサイドの繁華街（クラークキー周辺）

図 19 シンガポールの夜景

5. 基本的な考え方

(1) 目標

公共施設等におけるライトアップの目標を以下のように設定する。

○短期的目標 : 2020年まで

⇒東京2020大会までに、東京を代表するエリアの夜間景観向上を目指す

○中長期的目標 : 2020年～2040年

⇒夜間景観の向上に取り組むエリアの充実を図るとともに、順次拡大して、東京の個性ある夜景を楽しめるエリアを増やす

(2) コンセプト

コンセプトⅠ 光環境の整備

都市活動に必要な不可欠な機能照明について、環境に配慮し、改善を図る。

コンセプトⅡ みられる光の計画的な創出

観光資源の創出や地域に相應しい光の充実につながる施設を選定し、光による演出を行う。

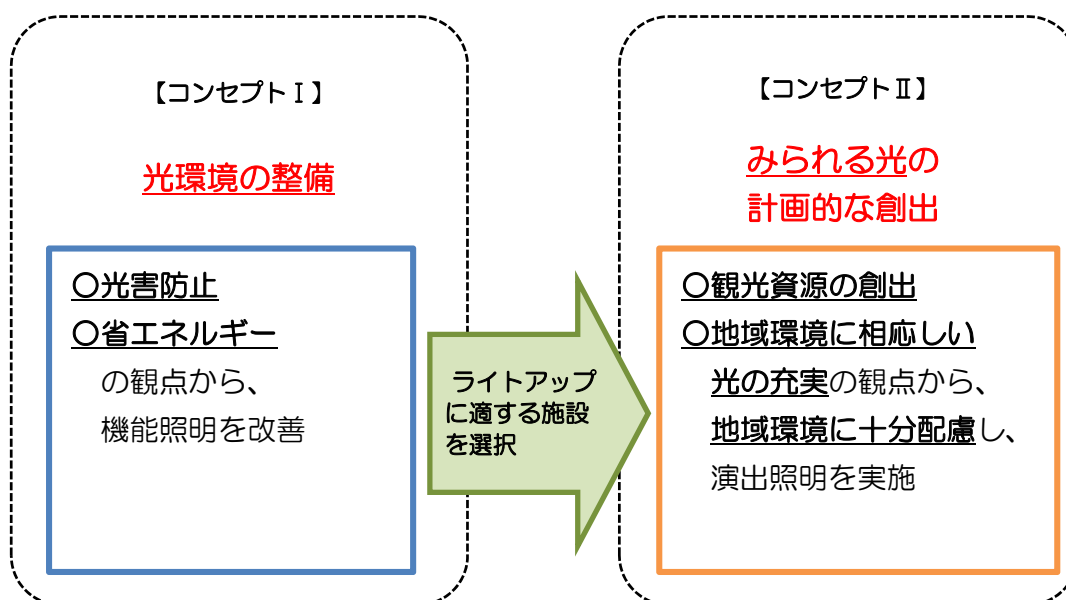


図 20 コンセプトに基づくライトアップの取組イメージ

コンセプトⅠ 光環境の整備

⇒ 光害や省エネルギーに配慮した「光環境の改善」の推進

1) 適切な照明機器の選定と再生可能エネルギーの利用

- ・ 目的物を効率よく照射でき、不快なグレアを発生しない、省エネルギー性の高い光源・照明器具（LED等）や、上方へ漏れる光が少ない照明器具を選ぶ。また、再生可能エネルギーの利用を進めていく。

2) 周辺環境に配慮した設置

- ・ 公共施設の照明設備を新設・更新する際には、安全性及び効率性の確保だけでなく、周辺の景観及び環境への十分配慮されている照明を選択する。

3) 照明設備の改善の時期

- ・ 既存の公共施設の照明設備を改善するためには、長期間の取組が必要となるため、施設の優先度を付けて計画的に整備したり、大規模更新のタイミング等を見計らって適切に行っていく必要がある。

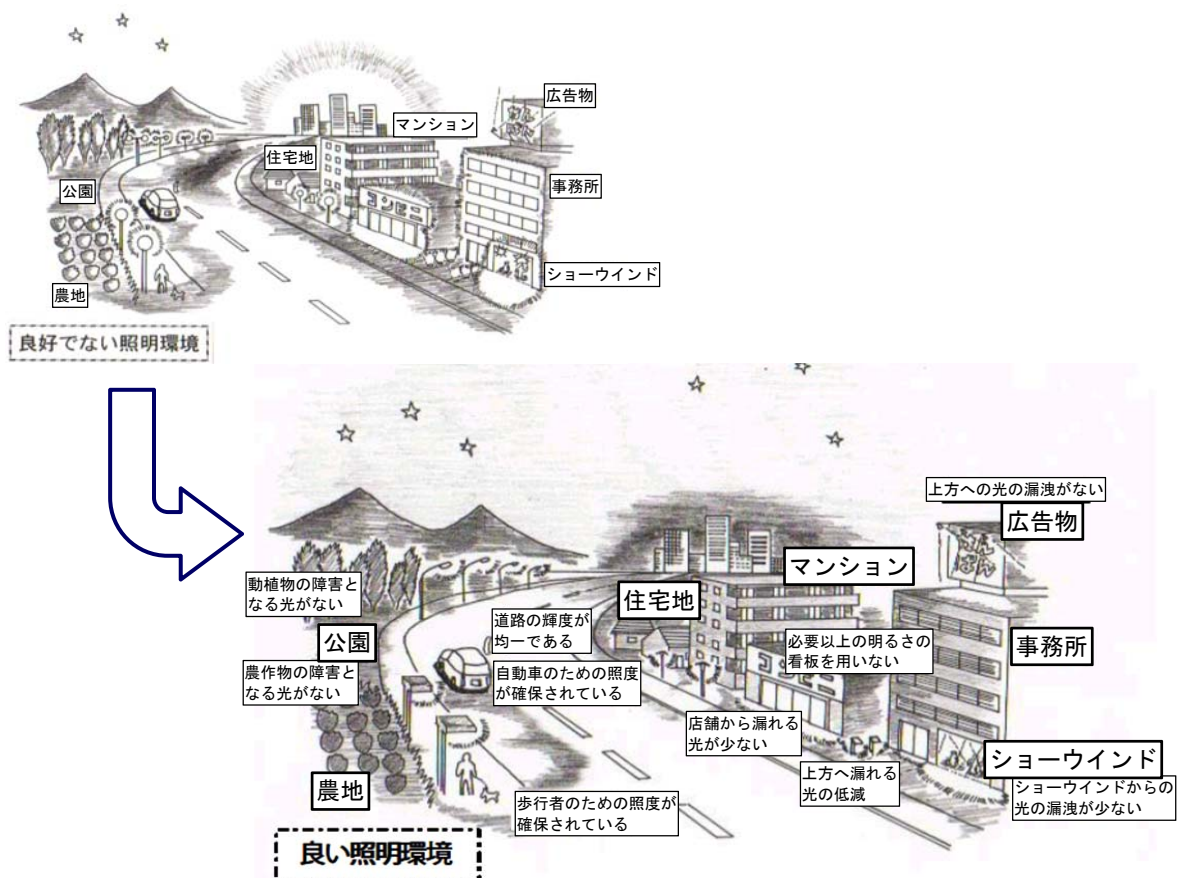


図 21 良好な照明環境のイメージ

(出典)「光害対策ガイドライン」(平成10年3月 環境省 2・3頁)に加筆

4) 光環境に配慮した照明の事例

- 器具の特性（漏れ光、グレア）や光源の特性（色温度、演色性）に留意して照明を整備することで、光環境の改善を図ることができる。

① 光害の防止（器具の配置・器具配光）

- 照明からの光が、周辺の生活者や周辺の樹木、生物の生育・生存に有害な影響を及ぼしたり、天文観測に支障を生じたりしないように、上方に無駄な光を拡散させないような照明器具の配置や器具配光に配慮する。



橋梁は周囲に遮るものがなく光が拡散しやすく、また、歩道橋は周囲の建物より高くなるため、高欄照明で漏れ光を抑えて必要な路面の明るさは確保

図 22 高欄照明の例

② グレアフリー（器具の配置・器具配光）

- 人間の目は、視界の中で明るいところに注意がいく特性があるので、夜の景観を楽しもうとしても、そこに眩しい光があれば周囲を邪魔してしまう。
- 高効率でグレアを極力抑えた適切な遮光性能を有する器具を使用したり、拡散光型（器具自体が柔らかく発光する）の器具であっても表面輝度をきちんと管理することが大切である。



交差点の必要照度を確保しながら、グレアのない配光制御されたボール灯

図 23 グレアの少ない道路照明の例

③ 色温度

- 光源は固有の色味があり、色温度（ケルビンK）で表され、高い色温度の光は白から青みがかり（水銀灯 5,000K）、低い色温度の光はオレンジ色（電球 2,800K）となる。
- 照明の色温度が人々に与える印象や、まちの個性を考慮して、地域にあった光色を選定する。



長崎市では、主な幹線道路や観光拠点は街路灯にオレンジ色の光としてナトリウム灯が使用されており、長崎らしい異国情緒を演出

図 24 まちの個性を踏まえた光色の例

④ 演色性

- 木のみどりなどが本来の色で見えるように、光源による色の見え方（再現性）のことをいう。単位としてR_a（アールエー）が使われる。
- 人やみどりなどを美しく見せたいような場所では、演色性が高い照明器具を用いる。



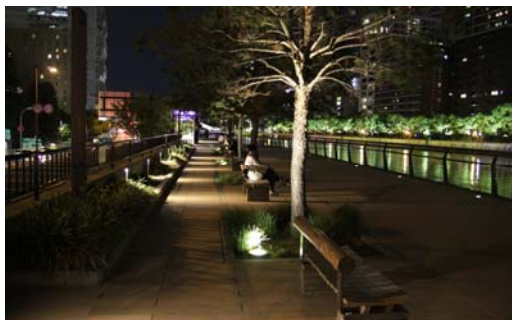
演色性が悪い

演色性が良い

図 25 演色性が悪い例・良い例

⑤ 光と影のバランス

- 快適な光環境を計画する上では、機能的に必要な場所に景観にも配慮して、最適な光をきめ細やかに与えていくことが重要である。
- 十分な明るさを確保する場所と憩いの空間など落ちついた暗さを求める場所など、空間の機能と照明の役割を考慮した照明計画が必要である。



水辺の憩いの場などでは、照明を低い位置に設置することで落ちつきが生まれる。照明や樹木の鉛直面の照明により空間の明るさは確保

図 26 光と影のバランスを考慮した照明計画例

コンセプトⅡ みられる光の計画的な創出

⇒ 施設の特徴を生かした、ライトアップによる演出照明の推進

1) 「みられる光」に対応した公共施設のイメージ

- ライトアップを実施する上では、インシヤルコストやランニングコストがかかるため、施設の特徴を踏まえつつ、ライトアップに適した施設を選定する必要がある。
- また、地域の特性を踏まえて、夜間景観のポイントとなり、にぎわいづくりや公共的空間の夜間での利用促進につながる施設を選定し、効率的・重点的にライトアップを行う。

ライトアップに適する公共施設の例

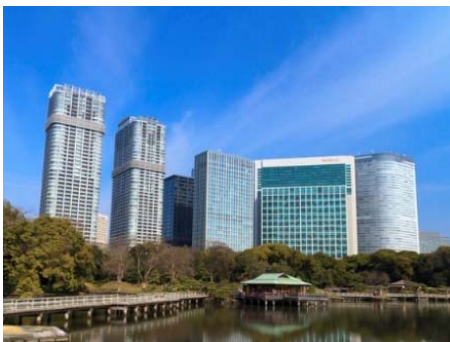
- 構造的にしっかりしていて、希少性がある施設
- 地域のランドマークとなっている施設
- 歴史的・文化的に有名な施設
- 景観上重要な道路、交通拠点施設（防災上重要施設、高速道路、鉄道駅、バスターミナル、船着場、客船ターミナル）
- ライトアップ施設をつなぐ施設、まとまっている施設（橋梁、河川テラス、公園、庭園、運河遊歩道等）



東京都庁舎



吾妻橋



浜離宮恩賜庭園



隅田川テラス

図 27 ライトアップに適する公共施設の例

2) ライトアップによる演出方法

- ・魅力的な夜間景観を実現するため、光を「点」から「線」、「面」に連続させていく。

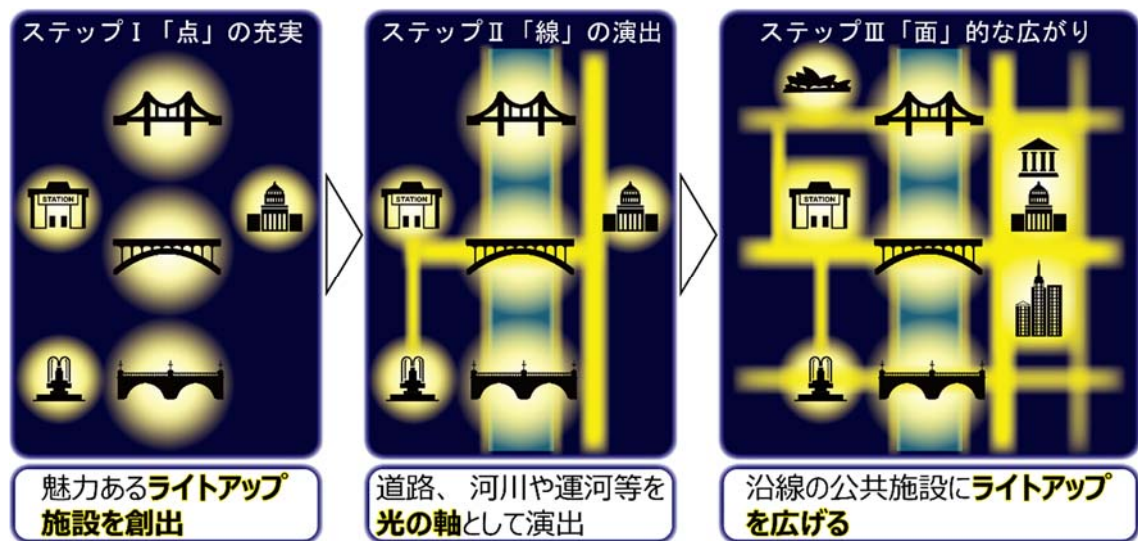


図 28 点・線・面のライトアップ

【点】の充実

○魅力あるライトアップ施設づくり

- ・既存のライトアップ施設とともに、ライトアップに適した公共施設を中心に、重点的にライトアップを実施する。
- ・対象施設の特徴（歴史的な施設等）や地域の特性（水辺、観光地等）、見られ方（歩行者・船上からの視点）等を考慮して、質の高いライトアップを実施する。

○ライトアップ施設を効果的に見せるための公共施設間の調整

- ・対象施設を中心とした夜景をより際立たせるために、周辺の公共施設においても光のトーンを合わせたり、明るさを抑えたりするなどの調整を行う。

【線】の演出

○東京の都市の構造を表現

- ・東京の都市構造を、主要な道路、河川、運河等で演出する。

○光によるヒエラルキーづくり

- ・公共施設の重要性などを、照明の明るさ、強さ、高さ、光源の種類、照明器具の形、光の質等で表現する。

【面】的な広がり

○エリア内の夜間の回遊やにぎわいの連続性を創出

- ・周辺の公共施設や駅などの交通施設、それらをつなぐ通りのライトアップを促進する。

3) 演出照明方法

- ・近年、LEDをはじめとした照明技術の進歩や、プロジェクションマッピングなどの演出手法の多様化も進んでいる。これらの技術を活用しながら、効果的なライトアップを検討していく。

演出方法の例①

○カラーLED

- ・昨今は多彩な色表現が可能なカラーLEDがトレンドとなっており、日本のカラーLED技術は世界レベルとなっている。
- ・プログラミングにより、季節や時間によって光色を変化させる演出ができることが特徴である。



阪神高速橋脚ライトアップの色彩変化
(色相グラデーション) (大阪市堂島川)

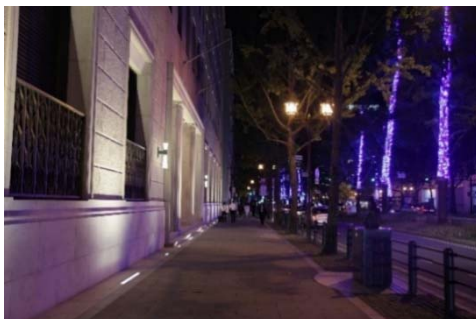


ガーデンズ バイ ザ ベイにおける光と音の
ショー (シンガポール)

図 29 カラーLEDによる演出例

○線的なライトアップ

- ・道路と沿道施設の光を一体的かつ相互補完しながら、道路空間の夜景の演出を行うことが効果的である。
- ・水面は光が映り込むことから、水辺に向けて光を当てることで幻想的な景観を創出することが可能である。



街路灯や沿道施設のライトアップ
(大阪市御堂筋)



河川沿いの樹木と護岸のライトアップ
(大阪市南天満公園)

図 30 線のつながりのあるライトアップ例

○プロジェクションマッピング

- プロジェクションマッピングは、対象物に合わせて映像を配置して、プロジェクターを使って映写するものである。
- 対象物は、建造物や水辺や樹木等の自然物に対しても映写することができる。2012年に行われた東京駅のプロジェクションマッピング以降、認知度も高まり、公共・民間問わず増えてきている。
- 公共空間・施設で行う際には、屋外広告物条例や道路法等の関連法規の適合等が必要となる。



公共施設（東京都議会議事堂）



国際展示場（東京ビッグサイト）

図 31 プロジェクションマッピングの例

○イルミネーション

- イルミネーションは、電球、LED、光ケーブルなどにより、夜間における風景などを作り出すものであり、電飾（でんしょく）とも呼ばれる。
- 街路樹や建造物の壁面を利用したイルミネーションにより、季節に応じたイベント等で街並みに彩りとにぎわいを与えることが期待できる。



パリ市ペ通りのイルミネーション



大井競馬場のイルミネーション（イメージ）

図 32 イルミネーションの例

4) 演出照明の効果

- 公共施設の演出照明を行うことで、夜景観光スポットとして地域の集客促進や回遊の一つのポイントとして活用されることが期待される。
- また、これまで夜間の利用が少なかった水辺や広場等に人の流れや都市活動が生まれて、パブリックスペースの利用価値を高めたり、照明環境が向上することで夜間の安心・安全にもつながる。
- なお、ランドマークとなる公共施設等では、ここから撮影した夜景が映えるというように、夜景を眺める場（視点場）やシーンを設定して絵になる夜景の作り込みが大切である。構造物等のライトアップに併せて、周辺公共施設や民間施設との光の調整を図ることで、地域全体でその効果を高める取組を促進する。



店舗等の施設の漏れ光等で落ち着いた空間を演出(左/東京ミッドタウン、右/大阪市中之島バンクス周辺)



橋梁の光環境改善に併せて河川沿いの道路照明や遊歩道のフットライト等のグレア解消・色温度を調整(大阪市中之島ガーデンブリッジ周辺)

図 33 公共空間における演出照明の事例（他自治体の取組等）

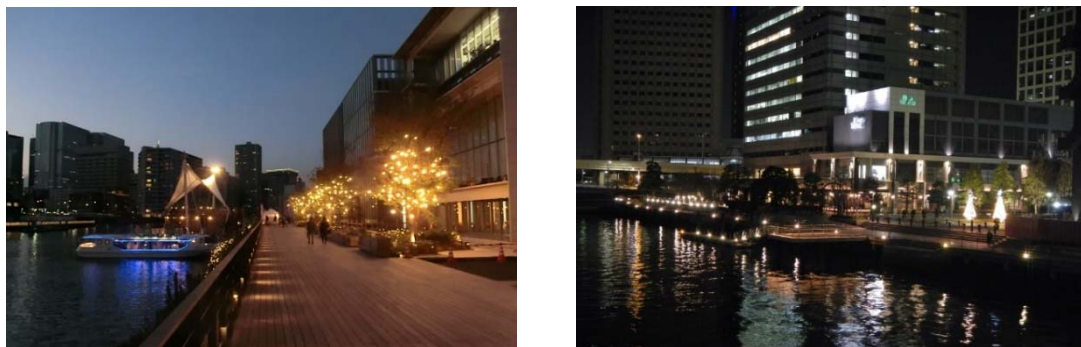
5) ライトアップ施設とにぎわい施設のタイアップ

- 公共施設のライトアップに併せて、周辺商店街や民間集客施設とタイアップしてエリアとしての連携を図ることで、夜間の魅力や回遊性の向上に取り組んでいく。



かわてらす（※）の整備による、民間施設と公共空間を一体的に利用して水辺の夜間利用を促進（東京都江東区清澄一丁目）

※「川床」の東京版であり、水辺の更なる魅力向上と地域の活性化を目的に、河川敷地を活用して飲食店等の営業を行うもの。



運河ルネサンスによる水上施設や棧橋、官民連携の遊歩道上部のライトアップ（東京都品川区東品川二丁目）

図 34 官民連携のライトアップ

6. 事業の推進方策

(1) 重点エリアの設定

公共施設のライトアップを重点的かつ一体的に進めるため、東京を代表するエリアにライトアップの取組を進める「重点エリア」を設定する。なお、重点エリアは、今後の公共事業や都市開発の進捗等に応じて、追加・変更等を行う。

《重点エリア設定の考え方》

- ・国内外からの来都者に向けて東京の顔として発信力が高いエリア
- ・東京を象徴する歴史・文化や水辺・緑が感じられるエリア
- ・東京 2020 大会に向けて、大会関連施設等の主要事業が見込まれているエリア



図 35 重点エリア

(2) 重点エリアにおける取組事例

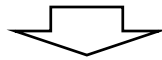
重点エリア内の取組事例の中から代表事例を以下に示す。

隅田川・臨海部エリア

事例① 隅田川地域

《本地域の特色》

- ・浅草から臨海副都心までの隅田川地域は、舟運観光の人気エリア
- ・隅田川沿いの浅草や両国等は、東京の歴史や文化を発信する観光の拠点
- ・隅田川沿いの公園や水辺のテラス、歴史があり構造的に美しい橋梁が多数存在



《今後のライトアップの展開》

- ・隅田川を「光の軸」とし、隅田川橋梁群等のライトアップの拡大とテラスの照明の整備を推進
- ・隅田川沿いの公園や公共建築物等のライトアップを促進し、光を面的に展開
- ・ライトアップ施設と周辺集客施設のタイアップにより、水辺のにぎわいを創出

《主なライトアップ施設》

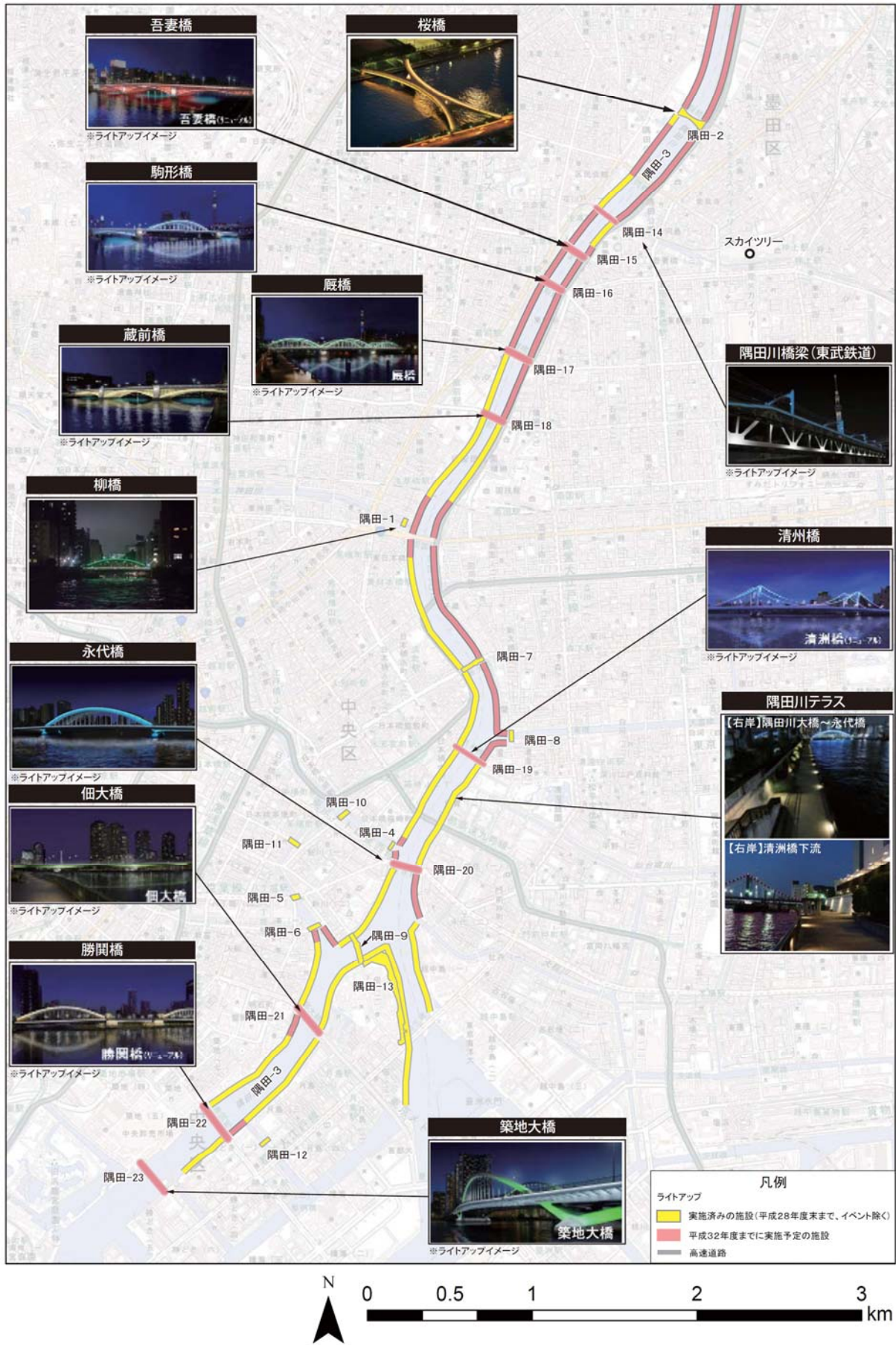
地域内の主な公共施設等のライトアップの実施状況・予定は以下の通り。

表 1 隅田川地域の主なライトアップ施設

No.	施設名	ライトアップ実施状況	施設管理者 又は施設管理予定者
隅田-1	柳橋	実施済みの施設	中央区
隅田-2	桜橋	〃	台東区
隅田-3	隅田川テラス	実施済みの施設 H32年度までに実施予定の施設	東京都
隅田-4	豊海橋	実施済みの施設	中央区
隅田-5	高橋	〃	中央区
隅田-6	南高橋	〃	中央区
隅田-7	新大橋	〃	東京都
隅田-8	万年橋	〃	江東区
隅田-9	中央大橋	〃	東京都
隅田-10	湊橋	〃	中央区
隅田-11	新亀島橋	〃	中央区
隅田-12	西仲橋	〃	中央区
隅田-13	石川島公園	〃	中央区
隅田-14	隅田川橋梁(東武鉄道)	H32年度までに実施予定の施設	民間
隅田-15	吾妻橋	〃	東京都
隅田-16	駒形橋	〃	東京都
隅田-17	麩橋	〃	東京都
隅田-18	蔵前橋	〃	東京都
隅田-19	清洲橋	〃	東京都
隅田-20	永代橋	〃	東京都
隅田-21	佃大橋	〃	東京都
隅田-22	勝鬨橋	〃	東京都
隅田-23	築地大橋	〃	東京都

注) ライトアップ実施状況の「実施済みの施設」は平成28年度末までに実施された施設を対象としている(イベント除く)。

隅田川・臨海部エリア : 隅田川地域

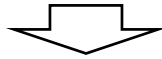


※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。
(承認番号 平 29 情複、第 1060 号)」

事例② 芝浦・日の出・品川・天王洲地域

《本地域の特色》

- ・運河の護岸整備や遊歩道の整備等により、船やモノレールからの眺望にも配慮したにぎわいと魅力ある運河空間を形成
- ・浜離宮などの歴史のある庭園と、羽田空港から都心までのアクセスの良さから、運河沿いを中心に、土地利用の高度利用が進む新たなまちとの融合



《今後のライトアップの展開》

- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を今後整理
- ・日の出ふ頭や天王洲地区等のライトアップを推進
- ・芝浦運河や高浜運河等に架かる橋梁等のライトアップを促進
- ・運河沿いの大規模再開発などと連携し、公共施設のライトアップを促進

《主なライトアップ施設》

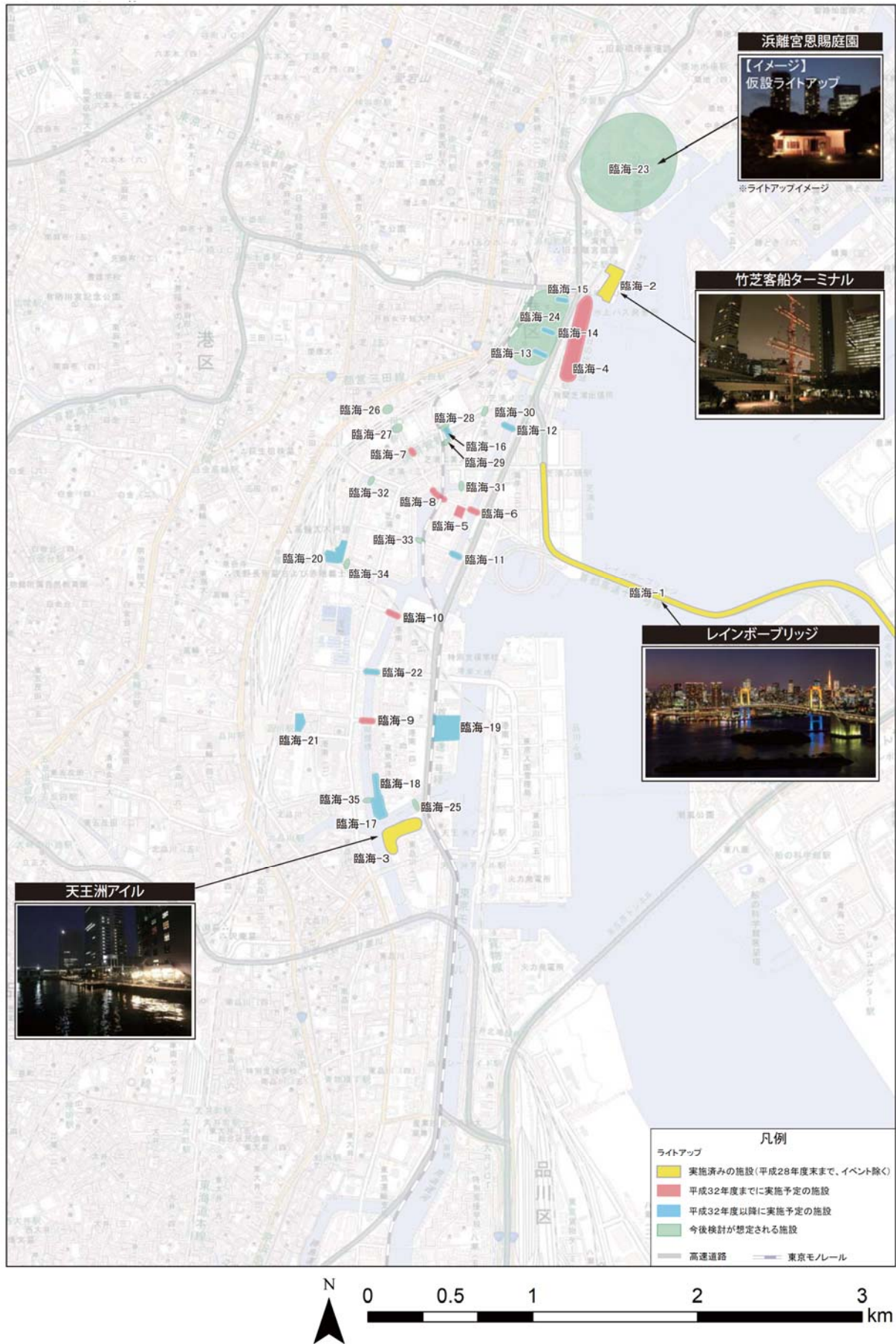
地域内の主な公共施設等のライトアップの実施状況・予定及び今後の検討が想定される施設は以下の通り。

表 2 芝浦・日の出・品川・天王洲地域の主なライトアップ施設

No.	施設名	ライトアップ実施状況	施設管理者 又は施設管理予定者
臨海-1	レインボーブリッジ	実施済みの施設	東京都・民間
臨海-2	竹芝客船ターミナル	〃	東京都・民間
臨海-3	天王洲アイル	〃	東京都・品川区・民間
臨海-4	日の出ふ頭(上屋等)	H32年度までに実施予定の施設	東京都
臨海-5	プラタナス公園	〃	港区
臨海-6	汐彩橋	〃	港区
臨海-7	新芝橋	〃	港区
臨海-8	渚橋	〃	港区
臨海-9	御植橋	〃	港区
臨海-10	浜路橋	〃	港区
臨海-11	港栄橋	H32年度以降に実施予定の施設	港区
臨海-12	浦島橋	〃	港区
臨海-13	末広橋	〃	港区
臨海-14	新芝浦橋	〃	港区
臨海-15	東芝浦橋	〃	港区
臨海-16	香取橋	〃	港区
臨海-17	港南公園D	〃	港区
臨海-18	港南公園C	〃	港区
臨海-19	港南緑水公園	〃	港区
臨海-20	高浜公園	〃	港区
臨海-21	品川駅港南ふれあい広場	〃	港区
臨海-22	新港南橋付近	〃	港区
臨海-23	浜離宮恩賜庭園	今後検討が想定される施設	東京都
臨海-24	運河エリア芝浦地区((仮称)芝浦一丁目計画等)	〃	東京都・港区・民間
臨海-25	運河エリア天王洲地区(水門等)	〃	東京都
臨海-26	田町駅西口デッキ	〃	港区
臨海-27	田町駅東口デッキ	〃	港区
臨海-28	鹿島橋	〃	港区
臨海-29	霞橋	〃	港区
臨海-30	竹芝橋	〃	港区
臨海-31	船路橋	〃	港区
臨海-32	百代橋	〃	港区
臨海-33	夕風橋	〃	港区
臨海-34	芝浦橋	〃	港区
臨海-35	薬水橋	〃	港区

注)ライトアップ実施状況の「実施済みの施設」は平成28年度末までに実施された施設を対象としている(イベント除く)。

隅田川・臨海部エリア : 芝浦・日の出・品川・天王洲地域



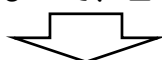
※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。
(承認番号 平 29 情複、第 1060 号)」

東京駅及び皇居周辺エリア

事例③ 東京駅及び皇居周辺

《本地域の特色》

- ・国際的な中枢業務機能の高度集積が進んでおり、交通結節機能強化と民間開発との協働により、東京駅周辺の国際化やにぎわいを創出
- ・東京の玄関であり、バスツアーの発着地ともなっており多くの観光客が訪問
- ・皇居の外郭に位置する皇居外苑、江戸城のたたずまいを残す濠、幹線道路とその沿道の建築物などが一体となって、日本を代表する景観を形成



《今後のライトアップの展開》

- ・日本橋川沿いの大規模再開発などにより整備する公共施設のライトアップの促進
- ・皇居前広場等のライトアップの整備促進
- ・皇居周辺の公共施設のオープンスペースを利用したライトアップの促進
- ・希少動植物の存在が確認されている箇所へのライトアップは控える。

《主なライトアップ施設》

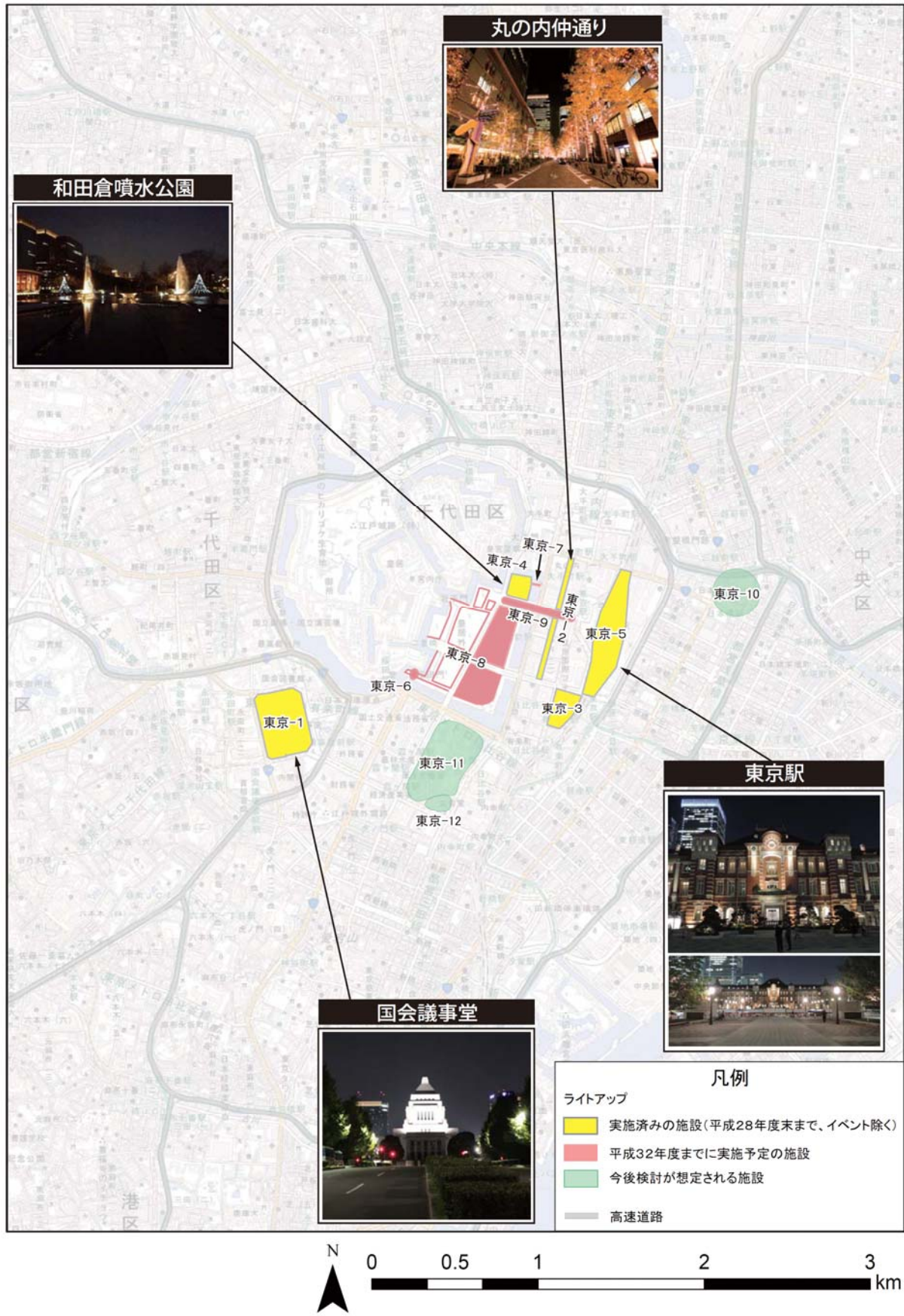
地域内の主な公共施設等のライトアップの実施状況・予定及び今後の検討が想定される施設は以下の通り

表3 東京駅及び皇居周辺エリアの主なライトアップ施設

No.	施設名	ライトアップ実施状況	施設管理者 又は施設管理予定者
東京-1	国会議事堂	実施済みの施設	国
東京-2	丸の内仲通り	〃	千代田区・民間
東京-3	東京国際フォーラム	〃	東京都・民間
東京-4	和田倉噴水公園	〃	国
東京-5	東京駅	〃	民間
東京-6	旧江戸城外桜田門	H32年度までに実施予定の施設	国
東京-7	和田倉橋	〃	国
東京-8	皇居前広場	〃	国
東京-9	行幸通り	〃	東京都
東京-10	日本橋一丁目中地区	今後検討が想定される施設	中央区・民間
東京-11	日比谷公園	〃	東京都
東京-12	日比谷公会堂	〃	東京都

注) ライトアップ実施状況の「実施済みの施設」は平成28年度末までに実施された施設を対象としている(イベント除く)。

東京駅・皇居周辺エリア



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。
 (承認番号 平 29 情複、第 1060 号)」